

埼玉大学図書館蔵「徐霞客」関連文献目録稿(3)

薄井俊二 埼玉大学教育学部言語文化講座国語分野

キーワード：徐霞客、徐弘祖、文献目録

1. はじめに

埼玉大学図書所蔵の徐霞客関連書籍の、目録と簡単な解説を施す¹⁾。

各章内では、「中国語文献」「日本語文献」「その他の言語文献」の順で記す。

2004年刊行の呂錫生主編「徐霞客研究古今集成」(中国書籍出版社、1054頁、以後「呂集成」)は、そのときまでの徐霞客遊記研究の内容を網羅したものである。その中で、「徐霞客遊記刊本」「徐霞客遊記注本」「徐学研究著作」「徐学研究文集」として紹介されているものは、研究書として認められたものといえる。それらは「呂集成紹介」と注記する。

4-7. 1960年代補遺

(1960代) 4の2

NCID	BB2846932X
書名	中国古代科学家 修訂本
編著者	中国科学院中国自然科学史研究室編
出版事項	北京：科学出版社、1963.3
形態	1冊、平装、本文210p、21cm
シリーズ等	—
言語	中国語
ISBN	—
配架場所	教育国語
請求記号	402.8: Ty
所蔵ID	219050104
解説	NCID「BA37838882」『中国古代科学家』の修訂本。前著の図版の誤りなどを差し替え、文章も一部書き換えている。 熊忠英担当の「徐霞客」(P189~197)は、ほぼ前文を踏襲しているが、若干文字の異同が見られる。

4-8. 1970年代補遺

(1970代) 1の2

NCID	BB28467878
書名	中国古代科学家史話
編著者	中国古代科学家史話編写組編

出版事項	遼寧：遼寧人民出版社、1974.3
形態	1冊、平装、本文194p、19cm
シリーズ等	—
言語	中国語
ISBN	—
配架場所	教育国語
請求記号	402.8: Ty
所蔵ID	219050102
解説	<p>春秋時代の魯班以下、中国古代の科学家20名を紹介したもの。明代からは、李時珍・宋応星とあわせて「明代著名地理学家徐霞客」が、熊樹梅の筆で取り上げられている (P174～185)。</p> <p>平易な文章で、「考水観山三十年」「岩溶考察的先駆」「傑出的河道地理研究」「実践求真的学風及其影響」の四部からなる。(1950代) 2及び(1960代) 4の2の「中国古代科学家」の評価をほぼ継承して、平易なものにしているといえる。</p> <p>冒頭に「毛沢東語録」を引くのは時代性だろう。</p>

4-9. 1980年代前半 (1980～84)

1980年代前半には、徐霞客遊記研究において飛躍的な進歩を促す刊行物が刊行された。1980年刊行の、褚紹唐呉応寿整理「徐霞客遊記」(上海古籍出版社、以後「上海整理本」と略)である。これは新たに発見された手抄本を底本にして、丁寧な校注を施したもので、丁文江本より分量・細部ともに格段に進展した。現時点で、遊記の底本の決定版といえる。中国科学院の「中国古代地理学史」は、随所に徐霞客遊記を引くが、遊記が研究者たちによく読まれるようになってきており、古代地理知識に関する重要な資料となっていることがわかる。ただし、上海整理本は、繁体字縦書きであり、遊記の本来の姿をとどめるものではあったが、現代中国の一般人には、なじみにくいものであった。

(1980代前半) 1

NCID	BB09792714
書名	徐霞客遊記：附索引
編著者	徐弘祖著；褚紹唐、呉応寿整理
出版事項	上海：上海古籍出版社、2011.11
形態	2冊、平装、本文1304p、21cm
シリーズ等	—
言語	中国語
ISBN	—
配架場所	教育国語
請求記号	292.2: Z: 1～2
所蔵ID	212800898～9

解説	<p>呂集成紹介。埼大所蔵本は、2011刊だが、初版が1980年なので、ここに置いた。</p> <p>徐霞客遊記の姿を一新した校本。縦書き繁体字。遊記本文の他、丁文江の年譜を附載。</p> <p>整理者は、華東師範大学の褚紹唐と復旦大学の呉応寿。この刊本は、季夢良抄本と徐建極抄本という、新たに発見された抄本に基づいており、丁文江本に至る諸本よりも、(1)全体を通して「日記体」であり、(2)詳細な記述の部分が多くあり、(3)旅の生活の記録が遥かに詳細で具体的なものとなった。遊記の記事も増え、描写も詳細かつ具体的なものとなり、遊記の姿は一変した。</p> <p>そしてこの上海新整理本が出てから、遊記に対する研究も質量ともに大きく前進することとなった。</p> <p>なお、埼大蔵本として、他に「925.5:Z:1~2」があるが、埼大OPACではヒットしない。</p>
----	---

(1980代前半) 2

NCID	BA62552484
書名	中国旅行家们的故事
編著者	金涛著
出版事項	北京：中国少年儿童出版社、1980.12
形態	1冊、平装、本文108p、19cm
シリーズ等	—
言語	中国語
ISBN	—
配架場所	教育国語
請求記号	282.2: Ki
所蔵ID	214850012
解説	<p>中国古代の旅行家を紹介したもので、青少年向け読み物。</p> <p>取り上げられているのは、張騫、司馬遷、法顕、玄奘、鄭和、そして徐霞客 (P89~108) である。挿絵と簡単な路線図を附載。本文は「探索祖国の大自然」「不知疲倦的旅行家」「勇敢的探索者」「偉大的地理学家」からなる。</p>

(1980代前半) 3

NCID	BA49588137
書名	徐霞客和他的遊記
編著者	王兆彤著
出版事項	南京：江蘇人民出版社、1981.5
形態	1冊、平装、本文81p、19cm
シリーズ等	江蘇歴史人物小叢書
言語	中国語
ISBN	—

配架場所	教育国語
請求記号	292.2: O
所蔵ID	218050131
解説	徐霞客とその遊記について全般的な説明を加えたもの。章立ては次の通り。「千古奇人」「志在遍游名山大川」「母親的啓迪和鼓励」「早年的出游」「并非只是為了探奇訪勝」「与黄道周等人交往」「西南万里遐征」「傑出的水道地理的考察」「石灰岩地貌考察的先驅」「地熱的考察及其他」「游記的文学價值」「依然虹影臥南陽」。褚紹唐らの整理本に言及はないので、まだ見ていないようである。

(1980代前半) 4

NCID	BA64895608
書名	旅行家徐霞客
編著者	紀流文；張全玲、江皓画
出版事項	北京：中国旅游出版社、1981.12
形態	1冊、平装、連環画、本文127p、10×13cm
シリーズ等	—
言語	中国語
ISBN	—
配架場所	教育国語
請求記号	289.2: Z
所蔵ID	213850281
解説	一ページに大判の絵があり、2～3行の言葉がつく「連環画」。徐霞客の先人からはじまり、生涯と游記の記述を紹介。最後に、最近、游記の手抄本が北京図書館で発見されたことを述べる。テキストは上海整理本を使用。

(1980代前半) 5

NCID	BB15617333
書名	徐霞客
編著者	武鋒、馮新広編文；呂雲所絵画
出版事項	石家庄：河北人民出版社、1982.3
形態	1冊、平装、連環画、本文114p、10×13cm
シリーズ等	—
言語	中国語
ISBN	—
配架場所	教育国語
請求記号	289.2: Z
所蔵ID	213850282

解説	連環画。114ページからなる。徐霞客の誕生から生涯と游记の記述を紹介。最後には「徐霞客の科学性は当時は継承されなかった。しかし現在その価値が再評価されており、解放後、党と人民が記念堂を建てた」という。
----	--

(1980代前半) 6

劉操南、平慧善選注「古代游记選注」(上海古籍出版社)：収蔵予定。次号で詳述。

(1980代前半) 7

NCID	BB15340397
書名	徐霞客的故事
編著者	王兆彤著
出版事項	済南：山東人民出版社、1982.8
形態	1冊、平装、本文95p、19cm
シリーズ等	歴史小故事叢書
言語	中国語
ISBN	—
配架場所	教育国語
請求記号	289.2: Z
所蔵ID	213850253
解説	徐霞客の代表的な小故事(エピソード)をあげ、彼の「不畏艱險、勇往直前的大無畏精神」を再現したもの。生き生きとした内容を平易な文章で記し、広く少年児童の閲読に適合したもの(「内容提要」より)。小故事は「五嶽之志」「嵩山探奇」「由黔趣滇途中」など21件。王兆彤二作品目。

(1980代前半) 8

NCID	BA5889168X
書名	徐霞客桂林山水游记
編著者	徐霞客著；許凌雲、張家璠注譯
出版事項	南寧：広西人民出版社、1982.8
形態	1冊、平装、本文163p、19cm
シリーズ等	—
言語	中国語
ISBN	—
配架場所	教育国語
請求記号	292.2: Z
所蔵ID	213850252
解説	呂集成紹介。游记の中から、桂林・興安・陽朔の部分を抽出し、本文・語注・現代語訳を付したもの。部分ではあるが、現代語訳としては最も古いもの。底本は褚紹唐等整理本ではなく、丁文江本である。

	「粵西遊日記一」から、「暢游興安(崇禎10[1637]年閏4月20日～27日)」「遍游桂林(閏4月28日～5月19日)」「陽朔之行(5月21日～28日)」「再游桂林(5月29日～6月11日)」。毎日ごとに、遊歴した場所などの小見出しをつける。
--	---

(1980代前半) 9

NCID	BA60638534
書名	明清人遊黄山記鈔
編著者	李一氓編
出版事項	合肥：安徽人民出版社、1983.11
形態	1冊、平装、本文92p、21cm
シリーズ等	—
言語	中国語
ISBN	—
配架場所	教育国語
請求記号	292.2: R
所蔵ID	213002953
解説	安徽省の黄山における明清人の遊記17篇について本文をあげたもの。 徐霞客については、万暦44(1616)年の「游黄山日記(前)」と万暦46(1618)年の「游黄山日記(後)」の2篇。清嘉慶の葉刊本を底本としており、各種の「黄山志」に収録されていないが、「一位偉大的旅行家游黄山的記録、科学而真実、絶無浮詞」と評価する。

(1980代前半) 10

NCID	BA65726548
書名	古代旅行家的故事
編著者	中華書局編集部
出版事項	北京：中華書局、1997.11(第3次印刷)(1983.11.初版)
形態	1冊、平装、本文227p、21cm
シリーズ等	中国歴史小叢書合集
言語	中国語
ISBN	—
配架場所	教育国語
請求記号	292.2: Ko
所蔵ID	213003313
解説	中国古代の旅行家に関する故事を集めたもの。すでに書かれているものを合集。埼大所蔵本は、1997年の刊行(第3次印刷)だが、初版が1983.11なので、ここに置いた。 張騫、法顕、玄奘、鑑真、鄭和に続いて徐霞客があり、最後がシルクロードとなっている。徐霞客部分は、侯仁之「(1960代)1」の再録。

(1980代前半) 11

NCID	BA37764979
書名	中国古代科学家伝記選注
編著者	闕勛吾
出版事項	長沙：岳麓書社、1983（1984.4）
形態	1冊、平装、本文261p、20cm
シリーズ等	中国古代名人伝記
言語	中国語
ISBN	—
配架場所	教育国語
請求記号	402.8: Ke
所蔵ID	219050125
解説	春秋時代の魯班以下、40人の科学者の伝記を記したもの。一部は各種資料より寄せ集めて作成されているが、まとまった「伝記」が残るものは、それを収録して語注を施す。徐霞客については、銭謙益の「徐霞客伝」を用いている（同伝は「徐霞客遊記」各本に附載）。

(1980代前半) 12

NCID	BA6273039X
書名	探險者の足跡—大地理学家徐霞客
編著者	金涛著
出版事項	上海：上海人民出版社、1984.10
形態	1冊、平装、本文135P、19cm
シリーズ等	—
言語	中国語
ISBN	—
配架場所	教育国語
請求記号	289.2: Ki
所蔵ID	209802449
解説	詳細な伝記。遊歴した場所ごとに詳述し、遊記そのものについても丁寧な解説を施す。附録として「生平大事年表」がある。脚注によれば、上海整理本を元としている。「10 《徐霞客遊記》在科学上の価値」では、「岩溶地形的宝貴資料」「珍貴的気象・気候記録」「動・植物的分布状況」「社会経済的眞実写照」「民族風情的生動画卷」を数えている。金涛二作品目。

(1980代前半) 13

NCID	BN12060275
書名	中国古代地理学史
編著者	中国科学院自然科学史研究所地学史組主編

出版事項	北京：科学出版社、1984.6
形態	1冊、平装、本文402P、26cm
シリーズ等	—
言語	中国語
ISBN	—
配架場所	教育国語
請求記号	292.2: Ty
所蔵ID	218050167
解説	<p>中国科学院、華南師範大学と南京気象学院の10名の研究者の、分担執筆による合作。遠古よりアヘン戦争期に至る間の、中国古代自然地理知識の発展史を描いたもの。「第一章 概論」では、時代区分ごとの地理学の発展段階と特色を概述する。「第二章」から「第十章」は、「地形」「気候」「陸地水文地理」「生物地理」「土壌地理」「海洋地理」「測量与製図」「方志的發展概要与地理価値」「辺疆和域外地理的考察研究」の各テーマごとに地理知識を記述する。科学研究者に供するのみならず、大学や高校などの教員へも閲読の参考とするもの。(以上「内容簡介」より)</p> <p>徐霞客については、「第一章 概論、第五節 近代地理学的濫觴、(二) 近代地理学的濫觴」(曹婉如担当)で紹介。脚注によれば、侯仁之「中国古代地理学簡史」(1960代) 3と上海整理本に基づいた記述。また、「第二章 地形、第三節 对構造地形的認識、(一) 火山地形的記述」及び「同、第四節 对流水地形的認識」で取り上げる他、特に「同、第五節 对岩溶地形的認識」の「1. 厘訂岩溶地形的類型及名称」「2. 指出岩溶地形發育的地区性差異」「3. 对岩溶地形形成因的分析」では、もっぱら徐霞客遊記の文章に基づいて記述している(曾昭璇・黄少敏担当)。また「第三章 気候」(王鵬飛担当)、「第四章 陸地水文地理」(陳瑞平担当)、「第五章 生物地理」(楊文衡・唐錫仁担当)でも取り上げられており、徐霞客遊記が研究者たちによく読まれるようになってきており、古代地理知識に関する重要な資料となっていることがわかる。</p>

(1980代前半) 14

NCID	BN05097708
書名	中国文学論集
編著者	三木克己著
出版事項	東京：春秋社、1980.10
形態	1冊、精装、本文368p、23cm
シリーズ等	—
言語	日本語
ISBN	—
配架場所	教育国語
請求記号	920.4: M
所蔵ID	218050186

解説	<p>大谷大学教授三木克己の著作集。「徐弘祖とその游記」(P71～96)を収録。三木には、「徐霞客遊記」の部分訳「(1960代) 6」があり、三木による解説が附載されている。小川環樹の「解説」では、本論考は、その解説である、というが、翻訳附載のものよりも遙かに詳細である。論考の末尾に(1960年5月)の記述があることから、翻訳にあわせて書かれたものであろうが、翻訳の解説としては専門的過ぎて分量も多かったことから、翻訳では概要版を作って掲載したのではないか。つまり、本論考は、1980年が初出である。</p> <p>伝記などを駆使して徐霞客の一生を描くとともに、游記の本文をふんだんに引用しながら、その内容と特色を明らかにしている。上海整理本以前のテキストによったものだろうが、徐霞客遊記について日本語で書かれた本格的な論文としては、ごく初期のものといえる。</p>
----	--

(1980代前半) 15

NCID	BN02410020
書名	海の冒険者・陸の思索者：15C～17C
編著者	藤原進編
出版事項	東京：日本交通公社出版事業局、1982.9
形態	1冊、平装、本文319p、26cm
シリーズ等	人はなぜ旅をするのか：藤原進編、第4巻
言語	日本語
ISBN	—
配架場所	図書館(書庫)・教育国語
請求記号	290.9: H
所蔵ID	821160312(図書館)・218050127(教育)
解説	<p>旅に関わる様々な著述を紹介しつつ、人間と旅について考察したシリーズ。年代ごとに区切って、全10巻。第4巻は、鄭和の随行録『瀛涯勝覧』や「コロンブスの航海記録」「奥の細道」など10種類を取り上げる。そのひとつとして「徐霞客遊記」があげられている。</p> <p>内容は、三木克己による訳文(一部略)と解説を引用するほか、編集部で「頭注」として語注、関連する図版や写真を掲げ、閲読の便に資している。また長沢和俊による「中国文人の旅行」という一文が附載されている。ここでは、一般的な文人のそれとは異なる徐霞客の旅行の目的や内容を紹介し、「このあと、彼のように地理学を好み、命がけの大旅行を続けた中国の文人は現れていない」と結ぶ。上海整理本などは参照していないものと推測される。</p>

4-10. 1985年

1985年にも、徐霞客遊記研究において飛躍的な進歩を促す刊行物が刊行された。朱恵栄校注「徐霞客遊記」(雲南人民出版社、以後「朱校注本」と略)である。1980年刊行の「上海整理本」が游記底本の決定版となったが、この本は、上海整理本をもとにしながら、簡体字横書きという、一般人にも手が出しやすい出版の形をとった。これ以後、雨後の筍のように出版される「游記」の選注本や概説書は、ほとんどがこの「朱校注本」を下敷きにしている。

(1985) 1

NCID	BA50614802
書名	徐霞客名山游記選注
編著者	徐霞客著；徐兆奎注釈
出版事項	北京：中国旅游出版社、1985.2
形態	1冊、平装、本文220P、20cm
シリーズ等	—
言語	中国語
ISBN	—
配架場所	教育国語
請求記号	925: Z
所蔵ID	209801917
解説	旅行者のサービスのための小冊子として、游记から13篇の旅日記を選び、本文と詳しい注を加えたもの。旅行者のため、とは言うが、注はかなり専門的で詳細である。テキストは上海整理本を用いている（「後記」より）。「名山游記」から、天台山・五台山など10篇、「西南游日記」から、衡山（楚遊日記）、七星岩（粵西遊日記）、太華山（滇遊日記）の3篇を取り上げている。

(1985) 2

NCID	BA41025822
書名	中国古代游記選
編著者	倪其心、費振剛、胡双宝、顧国瑞、王春茂選注
出版事項	北京：中国旅游出版社、1985.3
形態	2冊、平装、本文309+399p、21cm
シリーズ等	—
言語	中国語
ISBN	—
配架場所	教育国語
請求記号	925: G: 1～2
所蔵ID	218050190～1
解説	中国古代の散文游记の名篇を選び、本文に語注を施したもの。前言で游记の歴史的展開を述べる。東漢馬第伯「封禅儀記（節選）」から、清張裕釗「遊虞山記」まで115篇を収録。徐霞客遊記からは、ふたつの「遊黄山日記」（「遊黄山日記」（初遊、万曆44 [1616] 年。再遊、同46 [1618]）と、「遊雁宕山日記（初遊、万曆41 [1613]）」を取り上げる（下巻P205～238）。游记のアンソロジーとして、徐霞客遊記を取り上げたのはごく初期のもの。

(1985) 3

NCID	BA88576717
書名	秦宮月 短篇歴史小説新作選
編著者	李樹声編

出版事項	北京：文化藝術出版社、1985.5
形態	1冊、平装、本文483P、19cm
シリーズ等	—
言語	中国語
ISBN	—
配架場所	教育国語
請求記号	923.7: R
所蔵ID	213850283
解説	<p>歴史短編小説のアンソロジー。晏国琬著「徐霞客游黒山」(P415～428) (原載《山花》1979年第7期) を収録。</p> <p>歴史小説ではあるが、中国で書かれた徐霞客についての初めてのフィクション作品（日本では武田泰淳のものがある）。游记によれば、徐霞客は、崇禎11（1638）年5月9日、貴州省最西端、雲南省との境にあたる安順府普安州亦資孔駅に至る。小説はその翌日、徐霞客が盤江の発源の地である黒山を目指すところから始まる。盗賊に襲われるなどを経て、翌日、徐霞客が黒山の頂に至るところで終わっている。実は游记は、亦資孔以降（滇遊日記一に相当する部分）の記録が欠けており、その空白の期間のこととして創作されている。</p>

(1985) 4

NCID	BA63753222（初版BA45294564）
書名	徐霞客游记校注 増訂本
編著者	(明)徐弘祖著；朱惠榮校注
出版事項	昆明：雲南人民出版社、1999
形態	2冊、精装、本文1323p、21cm
シリーズ等	—
言語	中国語
ISBN	—
配架場所	教育国語
請求記号	292.2: Z: 1～2
所蔵ID	214850002～3
解説	<p>呂集成紹介。埼大所蔵本（増訂本）は、1999年の刊行だが、初版が1985年6月の刊行なので、ここに置いた。</p> <p>上海整理本を底本とし、游记全文の本文に閲読に資する注を施したもの。伝記などの関連資料もほぼ収録されているが、簡体字横書きと、現代中国人に読みやすいものとなっており、本書の刊行が、研究者のみならず、一般人にとっても「徐霞客遊記」を手にとることを促す決定的なものになったと推測される。以後の徐霞客関連書籍刊行の嚆矢といえよう。以後「朱校注本」と略。</p>

(1985) 5

NCID	BB26981327
------	------------

書名	徐霞客游記選
編著者	(明)徐弘祖著；臧維熙選注
出版事項	南京：江蘇古籍出版社、1985.7
形態	1冊、平装、本文311P、19cm
シリーズ等	—
言語	中国語
ISBN	—
配架場所	教育国語
請求記号	292.2: Z
所蔵ID	218050211
解説	<p>游記の中から、主に山川自然の遊歴部分を抜き出し、簡単な語注を加えたもの。「名山游記」からは、「遊天台山」など16篇から「石梁飛瀑」など33種の文章を、「西南游日記」からも、「浙遊日記」など6篇から「金華三洞」など34種の文章を取り上げている。「前言」によれば、1982年に「選注本」を刊行する予定であったが、上海整理本の編集が行われているという情報が入ったため、その本を底本とすることとし、刊行がこの年に伸びた、という。明記はしていないが、上海整理本を元に行っていることを示唆している。</p> <p>游記の一文を抜き出し、簡単な語注を加えるという、のちにたくさん出てくる「選注本」としては早い段階のもの。</p>

(1985) 6

NCID	BB15772493
書名	徐霞客游記選読
編著者	徐霞客著；陳茂材注訳
出版事項	上海：上海教育出版社、1985.11
形態	1冊、平装、本文121P、19cm
シリーズ等	中学生文庫
言語	中国語
ISBN	—
配架場所	教育国語
請求記号	292.2: Z
所蔵ID	214500013
解説	<p>游記の中らごく一部を取り上げ、本文に簡単な語注を付し、現代語訳を施したもの。「遊天台山日記」や「楚遊日記（遊麻葉洞）」など8篇。底本は明記しないが、本文は上海整理本だろう。</p>

*参考

(1985) 参考1

書名	アジア時報
編著者	アジア調査会

出版事項	東京、1985.12
形態	雑誌
言語	日本語
配架場所	国立国会図書館
解説	第16巻第12号 [188号] の「話の広場」に、榎一雄「徐霞客遊記」(p3～p7) を収載。徐霞客遊記の特色を紹介したもの。その特色を「それぞれの自然地理を極めて詳細に記述していること」とし、「自然が彼の筆を借りて自らを語っているとしか言いようのない、正確にして生気瀉刺たる文学である」「知らず、欧州にこれに比較し得る文学ありや」と賞賛している。 コピーを入手。

4-11. 1986年

1986年は、徐霞客生誕400周年に当たる。1980年の上海整理本により、研究の礎が築かれてから5年以上がたち、研究者も増え、研究論文も一定の蓄積を見たことにより、この年と翌年に、学術研究論文集が4冊刊行された。

(1986) 1

徐中玉主編；韓黎范、方正耀、張菊如選注「中南游記選」(上海文芸出版社)：収蔵予定。次号で詳述。

(1986) 2

NCID	BA48608410
書名	徐霞客
編著者	楊文衡、楊世鋒
出版事項	北京：中国青年出版社、1986.7
形態	1冊、平装、本文249p、19cm
シリーズ等	—
言語	中国語
ISBN	—
配架場所	教育国語
請求記号	289.2: Z
所蔵ID	218050210
解説	呂集成紹介。かみ砕いた評伝。「第一章 家郷山水」から「第九章 道路還没走完」まで。諸伝記と遊記から彼の一生と旅の行程をたどったもの。一般向けの読み物。

(1986) 3

NCID	BB15319801
------	------------

書名	徐霞客評伝
編著者	劉国城
出版事項	哈爾濱：東北林業大学出版社、1986.7
形態	1冊、平装、本文248p、21cm
シリーズ等	—
言語	中国語
ISBN	—
配架場所	教育国語
請求記号	289.2: Z
所蔵ID	213850255
解説	<p>呂集成紹介。研究者の立場から書かれた評伝。底本（上海整理本）を示したり、地図や図版を用いるなど、わかりやすさを追求しつつも、学術的な著述である。</p> <p>筆者の「前言」によれば、本書の狙いは次の三つ。一つ目は、徐霞客の生平と交友などから彼が探検家・地理学家として成長した要因を探ること二つ目は、徐霞客の活動の考察を通して、彼が困難に打ち勝って、特殊な探検を恐れなかったことを明らかにすること。三つ目は、彼の地理科学や遊記文学における成果を評価すること、である。</p>

(1986) 4

鄭孟彤、洪柏昭、張徳昌評注「古代游記名篇評注」（広東人民出版社）：収蔵予定。次号で詳述。

(1986) 5

NCID	BA52613108
書名	徐霞客研究文集—紀念徐霞客誕辰四百周年
編著者	南京師範大学地理系主編
出版事項 形態	南京：江蘇教育出版社、1986.10 1冊、精装、本文305p、21cm
シリーズ等	—
言語	中国語
ISBN	—
配架場所	教育国語
請求記号	292.2: N
所蔵ID	215850026
解説	<p>呂集成紹介。研究者たちによる、徐霞客に関わる論文集。1948刊行の「地理学家徐霞客」に次いで、戦後ふたつめのもの。徐霞客の生年は1586年であり、この年は生誕400周年にあたった。1980年の上海整理本の出現により、徐霞客とその遊記を研究する環境は飛躍的に向上し、また多くの研究者たちの興味も引いた。そのことで研究が進み、その蓄積が、生誕400周年の節目とあいまって研究論文集の刊行につながった。なお一年遅れであるが、1987年にも3冊の研究論文集が刊行されている。</p> <p>「徐霞客及徐学研究文献目録」を含む、25篇の論文を収録。徐霞客の時代</p>

	<p>背景などについては、侯仁之《紀念作為時代先驅的徐霞客》等、地理学上の貢献については、任美鏗《徐霞客对世界岩溶学的貢獻》等、路線の考察などについては、褚紹唐等《徐霞客在広西的考察工作》等、研究史については鞠繼武等《建国以来徐霞客及徐学研究総述》等。当時の第一人者たちによる、質の高い研究論文集。</p> <p>なお、埼玉大学図書館には「請求記号 925.5、Z」として同じ本が所蔵されているが、opacにはヒットしない。</p>
--	--

(1986) 6

NCID	BB15317260
書名	徐霞客在貴州
編著者	王天石
出版事項	貴陽：貴州人民出版社、1986.11
形態	1冊、平装、本文187p、19cm
シリーズ等	貴州史地小叢書
言語	中国語
ISBN	—
配架場所	教育国語
請求記号	292.2: O
所蔵ID	213850254
解説	<p>呂集成紹介。貴州における徐霞客の行程とそこでの記述を紹介したもの。特定の地域に着目した遊記の利用としては、ごく初期のもの。以後「徐霞客在〇〇」という書名の著書が多く出ている。崇禎11年3月27日から5月9日までの「黔遊日記」二巻分と、同8月の「滇遊日記二」の一部。「一、進貴州、餓鬼橋辺遇強人。宿下司、布依老漢迎遠客」から「一二、探盤江、霞客再次来貴州。道碧洞、深情滿載往雲南」まで、十二章からなる。</p>

(1986) 7

王兆彤選注「徐霞客遊記選注」(山東人民出版社)：収蔵予定。次号で詳述。

4-12. 1987年

1987年は、前年に引き続き、研究論文集が刊行されたほか、唐錫仁と楊文衡による「徐霞客及徐霞客遊記研究」という、ハイレベルの研究書の刊行を見た。徐霞客研究の進展が、新しい段階に入ったことを示す。

(1987) 1

NCID	BA64271238
書名	徐霞客的故事
編著者	徐俊良編著

出版事項	上海：少年兒童出版社、1987.1
形態	1冊、平装、248p、19cm
シリーズ等	少年文庫
言語	中国語
ISBN	—
配架場所	教育国語
請求記号	289.2: Z
所蔵ID	213850256
解説	徐霞客の伝記。青少年向けの読み物。挿絵はあるが絵本ではない。「神州究竟多大多美」から「宏図遺願」まで、31章からなる。伝記と遊記の記事をまとめている。青少年向けということで、版本などの専門的な事柄は省かれている。本書には「哈爾濱康富小学校」の蔵書印があり、小学校で所蔵されていたことがわかるが、高学年向けだろう。

(1987) 2

NCID	BN03897893
書名	中国地理学発展史
編著者	鞠継武編著
出版事項	南京：江蘇教育出版社、1987.1
形態	1冊、平装、288p、21cm
シリーズ等	—
言語	中国語
ISBN	—
配架場所	教育国語
請求記号	292.2: Ki
所蔵ID	218050192
解説	<p>中国の地理学の発展を時代ごとに記述したもの。時代区分は「原始社会(石器時代)」「奴隸制(夏～春秋中葉)」「封建早期(春秋中葉～南北朝)」「封建中期(隋～元)」「封建晩期(明～アヘン戦争)」「半封建半植民地(1840～1949)」である。</p> <p>徐霞客については、「第五章 封建晩期」に「第二節 徐霞客の地理考察」として、一節をあげて紹介している(P164～178)。「探検精神と実事求是の態度」「地理学上の貢献」の二部からなる。後者が大部分を占める。さらに「岩溶地貌」「流水地貌」「構造地貌」「気候南北差異」の四節に分かれる。</p>

(1987) 3

NCID	BB15343646
書名	紀念徐霞客論文集
編著者	朱榮、譚紹鵬、張思平選編
出版事項	南寧：広西人民出版社、1987.2

形態	1冊、平装、273p、21cm
シリーズ等	—
言語	中国語
ISBN	—
配架場所	教育国語
請求記号	289.2: Z
所蔵ID	213850257
解説	<p>呂集成紹介。研究者たちによる、徐霞客に関わる論文集。1985年12月に、桂林で「紀念徐霞客考察広西三百五十周年学術討論会」が開催された（徐霞客の広西遊行は1637年）。その二年後の1987年に至って、討論会の発表内容をまとめたのが本論文集。1987年刊行の論文集のひとつ。全書約21万字。</p> <p>朱栄の前言に続いて、20篇の論文を収録。徐霞客の思想などについては、潘琪《紀念徐霞客与当代知識分子問題》等、路線の考察などについては、呉応寿《徐霞客游峨眉山考辨》等、広西における地理学的側面については朱徳浩《徐霞客对洞穴次生化学沈積物的考察研究》等、広西における石刻に関しては、薩大点《徐霞客所涉桂林石刻考察》等、他の人物との比較研究としては譚其驥《与徐霞客差相同时的傑出地理学家—王士性》等、研究史では廖子良《徐霞客及び徐霞客遊記研究述要》及び《徐霞客及徐霞客遊記研究文献目錄》等。当時の第一人者たちによる、質の高い研究論文集。</p>

(1987) 4

NCID	BB15353901
書名	地理学家和旅行家徐霞客
編著者	田尚、馮佐哲著
出版事項	北京：北京旅游出版社、1987.5
形態	1冊、平装、120p、19cm
シリーズ等	—
言語	中国語
ISBN	—
配架場所	教育国語
請求記号	289.2: Z
所蔵ID	213850258
解説	<p>徐霞客の一生とその仕事を紹介した一般向けの読み物。「第四章 千古奇書」では、岩溶地貌や遡流究源、経済地理上の貢献（農副業生産や鉱工業資源等）などあげる。</p>

(1987) 5

徐中玉主編；方智范選注「西南西北游記選」（上海文芸出版）：収蔵予定。次号で詳述。

(1987) 6

NCID	BN03363119
------	------------

書名	徐霞客及其游記研究
編著者	唐錫仁、楊文衡著
出版事項	北京：中国社会科学出版社、1987.8
形態	1冊、平装、280p、21cm
シリーズ等	—
言語	中国語
ISBN	—
配架場所	教育国語
請求記号	289.2: Z
所蔵ID	213850259
解説	<p>呂集成紹介。約22万字。徐霞客と遊記について本格的に検討を加えた研究書で、呂集成は「一本完整的徐学研究專著」とする。個人レベルでの専門的研究書としてはほとんど初めてのものであり、徐学研究の第一歩となる。</p> <p>七章からなり、徐霞客のこと、旅行の考察、地理学上の貢献、文学的価値、彼の思想と方法、遊記テキストについて、科学史上の地位で、最後に年表と文献目録を載せる。内容分量ともに、七章均等ではなく、「第三章 地理学上の貢献」が120pあまり、「第七章 科学史上の地位」が15pあまりで、あわせて全体の半分程度。徐霞客遊記の科学的側面を明らかにすることに主眼があったことがわかる。彼の行程については「2.59万km」で、そのうち64%が徒歩であったとする。また地形の類型化が図られているとし、観察した洞穴を357、入洞して考察したものが250カ所である、と数えている。</p> <p>なお、私有版は精装である。</p>

(1987) 7

NCID	BN11155412
書名	徐霞客研究
編著者	無錫教育学院徐霞客研究室学報編輯部編
出版事項	南京：南京大学出版社、1987.9
形態	1冊、平装、168p、19cm
シリーズ等	—
言語	中国語
ISBN	—
配架場所	教育国語
請求記号	289.2: Z
所蔵ID	213850260
解説	<p>呂集成紹介。</p> <p>研究者たちによる、徐霞客に関わる論文集。徐霞客生誕400周年を記念しての出版。1987年刊行論文集のひとつ。全書約12万字で、最もコンパクト。</p> <p>夏寒の序言に続いて、16篇の論文を収録。徐霞客の地理学的側面については褚紹唐《徐霞客対人文地理的貢献》等、路線の考察などについては、鄭祖安《徐霞客旅行“游術”拳隅》等、生平などについては、呂錫生《徐霞客</p>

	籍貫考》や金易《試論徐霞客家史—梧棲徐氏宗譜》等、文学的側面については、蔡伯仁《試論徐霞客遊記的芸術特点》等。附録として《徐霞客研究六十年史論著索引（1927.6～1986.6）》がある。当時の第一人者たちによる、質の高い研究論文集。
--	---

(1987) 8

NCID	BA56517897
書名	中国歴史地理文献概論
編著者	靳生禾著
出版事項	太原：山西人民出版社、1987.9
形態	1冊、平装、本文341p、21cm
シリーズ等	—
言語	中国語
ISBN	—
配架場所	教育国語
請求記号	222: Ki
所蔵ID	218050166
解説	<p>中国の歴史地理に関する文献を紹介評価したもの。それぞれ「書名・巻数・撰人」「内容・体裁」「価値・特色」「版本・注本」「論文挙要」として記述。先秦の「山海経」に始まり、地理専著、正史地理志、総合地誌から近代の学術雑誌に至る。目次に名をあげるのは45点ほど。附録として「外国学者」のものとして、マルコポーロの「行記」他2点をあげる。</p> <p>徐霞客遊記は、「第四章 元明清時期的歴史地理文献」に「五 徐霞客遊記」としてあげる（P235～251）。徐霞客遊記の価値としては、「自ら見たものを記述しており、既存の資料を補足するものであること」「手薄だった西南地域の地理知識をもたらしたこと」「西南地域のカルスト地形を記述したこと」「実地考察の地理学であること」「山水遊記としての文学性に富むこと」をあげ、特色としては「真実性、補実性、科学性、生動性」をあげる。</p>

(1987) 9

NCID	BA56225290
書名	明代地理学家徐霞客
編著者	于希賢編著
出版事項	北京：科学普及出版社、1987.10
形態	1冊、平装、114p、20cm
シリーズ等	科技人物叢書
言語	中国語
ISBN	—
配架場所	教育国語
請求記号	289.2: Z

所蔵ID	213002954
解説	<p>呂集成紹介。序文によれば、徐霞客生誕四百周年紀念に著述したという。呂集成は、科学普及を目的とした著述で、中等文化程度の読者を対象とした、徐霞客の一生と成果について簡明に紹介した優良読み物だという。</p> <p>本文は、生平、地理学的貢献、精神の三部からなるが、地理学的貢献の部分が質量ともに抜きん出ている。植物地理や気候状況の認識に着目しているところが、本書の特徴か。</p>

(1987) 10

NCID	BB22425321
書名	紀念徐霞客誕辰400周年文集
編著者	中国地理学会
出版事項	北京：中国科協：中国地理学会：中国国土經濟研究会、南京：江蘇省社科聯、1987.11
形態	1冊、平装、163p、26cm
シリーズ等	—
言語	中国語
ISBN	—
配架場所	教育国語
請求記号	292.2: Ki
所蔵ID	216002483
解説	<p>呂集成紹介。研究者たちによる、徐霞客に関わる論文集。1985年に中国科協らは、1987年に無錫で、誕辰四百周年紀念会を開催し、記念文集を刊行することを決定した。その成果が本書。1987年刊行の論文集のひとつ。</p> <p>冒頭に李先念国家主席の題詞を掲げ、23篇の論文を収録。徐霞客の学術上の価値については、楊文衡《徐霞客在中国地理学史上的地位》等、地理学的側面については、陳橋駅《關於徐霞客与江源問題》等、文学や美学の方面では、臧維熙《山水文学巨著》等、路線等については、趙榮的《徐霞客滇游路線及所記水系補考》等。当時の第一人者たちによる、質の高い研究論文集。</p>

(1987) 11

朱家馳訳注「明代游記選粹」（天津教育出版社）：収蔵予定。次号で詳述。

参考

(1987) 1

書名	両浙游記選
編著者	曹文趣、応守岩、崔富章選注
出版事項	浙江古籍出版社、1987.10
形態	1冊、平装、本文403p、21cm

言語	中国語
解説	<p>私有。日本国内の大学図書館等での所蔵はない。</p> <p>浙江省を対象とした山川游記93章を選び、本文に簡単な注を加えたもの。西湖、天目山など、名勝ごとにまとめている。</p> <p>徐霞客遊記からは、「游天台山日記」(P226～232)、「同後」(P233～239)、「游金華北山(「浙游日記」10月9日条)」(P274～279)、「江山遊記(「閩游日後」7月30日～8月4日条)」(P317～321)、「游雁宕山日記(一回目)」(P370～377)をあげる。</p>

注

- 1) 前稿までは、「文献目録」は「徐霞客遊記の基礎的研究」の一部としていた。本稿からは、独立した論文とする。ただし、章節番号は、前稿を踏襲する。

以上

(2019年9月29日提出)

(2019年10月10日受理)